

日中友好新聞

府連通信

2013年6月号
日本中国友好協会
大阪府連合会
〒530-0013

大阪市北区
茶屋町10-6
阪急北ビル4階
TEL06-6372-8131
050-3413-6491
FAX06-6372-8132
郵便振替口座
00970-5-8978
E-mail:jcfa@j
t8.so-net.ne.jp
ホームページ
http://www005.u
pp.so-net.ne.jp
/jcfaosaka/

中国研究会八月から発足 オスプレイ飛行反対を決議

六月十六日午前、第五九回大阪府連大会を開催しました。国交回復四一年を迎えました。尖閣諸島をめぐる日中両国の対立は、最悪ともいえる困難な状況となっています。

この一年、不再戦平和の活動、戦後補償問題を解決するための運動、中国帰国者支援などに取り組んできました。太極拳やきりえなどの毎月行事に取り組み、支部活動五原則を守って組織強化の活動にも取り組んでいる支部からの発言や、七月に平和のための東大阪戦争展として開催する漫画展について東大阪支部から紹介されました。

大阪府連大会を開催しました。国交回復四一年を迎えました。尖閣諸島をめぐる日中両国の対立は、最悪ともいえる困難な状況となっています。

この一年、不再戦平和の活動、戦後補償問題を解決するための運動、中国帰国者支援などに取り組んできました。太極拳やきりえなどの毎月行事に取り組み、支部活動五原則を守って組織強化の活動にも取り組んでいる支部からの発言や、七月に平和のための東大阪戦争展として開催する漫画展について東大阪支部から紹介されました。

長春や頭道河子村で 市民との交流を深める

大阪西支部企画の平和の旅は、五月十日から長春・ハルビン・牡丹江へ六名が市民レベルの交流を深めてきました。

牡丹江郊外・頭道河子村の村民はみんなとてもフレンドリーで大きな声で説明してくれました。協会の旗を囲んで村民と



一緒に記念撮影。村民との交流では政府など上でもめても市民レベルは仲よくと強調され、草の根の日中友好・交流が大切と感じました。九〇歳の養母が住んでいる長春市の日中友好楼で、敗戦の混乱時、はぐれて泣いていた一才の女の子を助けて、養母として三七年間育てたが、国交回復で日本の両親が訪ねてきて話し合い、日本の実父母の思いを理解して、日本への帰国を快諾した。帰国は当然のことと明らかに答えてくれたことがとても印象的で、訪問した六名には心地よく響きわたりました。今年の大阪西支部平和の旅は鉄道の旅、向い合わせの座席で市民との交流や、食堂車での食事、グリーン寝台の経験、車窓からのながめなどゆつたりとした民間交流も深まる友好の旅となりました。



午後には「日中関係の転機をどうとらえ、いかに再構築するか」をテーマに学習講演会が開催され、二月にも参加された方も含め六〇名が熱心に聞き入り、

講師も多彩な質問に丁寧な回答をされていました。

第三六回全大阪きりえ美術展が五月三十一日から六月五日まで、エル・おおさかギャラリーで、開催され、六〇〇名近くが鑑賞しました。大阪府内と関西のきりえサークル会員から九一点出品されました。

一〇回出品四名、二〇回出品二名、三〇回出品四名が記念表彰されました。前回より少し出品数が減りましたが、新しく出品された方が、九名おられました。

第三六回全大阪 きりえ美術展

五月三十一日から六月五日まで、エル・おおさかギャラリーで、開催され、六〇〇名近くが鑑賞しました。大阪府内と関西のきりえサークル会員から九一点出品されました。

大阪府連事務所移転します

会員の皆様へ緊急連絡です。日中大阪府連事務所が移転します。移転先は〒530-0012 大阪市北区芝田2-3-19 東洋ビル本館207号室です。

中国語教室は205・305号室です。

電話番号やメールアドレスは変わりません。

連絡先：大阪府連06-6372-8131



東大阪支部総会開く 関東軍と満州国」講演会も

四月二〇日(土) 東大阪支部 記念「未完の対局」交流会を兼ねた総会が、中国残を上映しました。長留邦人帰国者二世とその配偶者 時間にもかかわらず(三組四名)や会員の友人など 画面にくぎづけとな多彩な顔ぶれが集まり、四年連り、時間が短く感じ続で開催され、年々参加者が増え二〇名の参加となりました。

栗山事務局長の開会あいさつ、会となり、帰国二世 廣原支部長の映画の簡単な紹介のかたは、たどたどのあと、日中国交回復一〇周年 しい日本語で自己紹

堺市で中国残留婦人の半生を描く

不朽の名作180回記念公演

六月九日堺市で中国残留婦人 中国結(チョンゴウジエ)に人の半生を描く不朽の名作 たとえた」感動的な挨拶があり「帰ってきたおばあさん」がりました。

180回記念公演として開催 709席の会場は満席で、幕が閉じると鳴り止まない拍手で、観客に大きな感動を与えました。当日会場では堺支

開演に先立ち浅田勝美実行委員長から「数年前、中国・福建省での中国残留婦人との出会いと今回の堺での上演に至った経緯、そして人と人を結びつけた縁を入場者全員にプレゼントされた(泉州市の青年が送ってきた中国伝統の民芸品)



写真は十六日の府連大会で取り組みの経験を発言する浅田美奈子さん



介をされました。浅野耕世東大阪市議(会員)から来賓挨拶がありました。

帰国二世の配偶者で常恩厚氏(太田智由)によるアコーディオンの独奏と演奏により、参加者全員で合唱し大いに盛り上がりました。第二部として元中国人民解放軍軍医の北郷副支部長による「関東軍」と「満州国」につ

東大阪市で漫画展

平和のための東大阪戦争展の運動方針案と役員選出を全員の賛成で採択しました。

平和のための東大阪戦争展のメイン企画の一つとして、漫画展「中国からの引き揚げ」少年たちの記憶」が、七月二七・二八日の両日、東大阪市民会館で開催されます。

東大阪支部は実行委員会のメンバーとして参加しています。日中手持ちの資料も提供します。

中国大気汚染とPM2.5の健康影響

あなたの健康を守るための学習会

五月二六日、あなたと家族の健康を守るために、「正しいPM2.5の発生源や健康への影響を知ろう! PMと中国事情」をテーマに学習会が開催されました。

第一講演は大阪経済大教授 山本恒人府連副会長が「中国の大気汚染」をテーマに、中国が市場経済を突き進む中で、世界問題に押し上げてきた中国の大気汚染問題を詳しく説明されました。

第二講演はつくば健康生活研究所代表の嵯峨井勝さんが「PM2.5の健康



「講演内容はわかりやすかった」「植物への影響についての説明がほしかった」などの声と、市民運動が大気汚染やさまざまな公害の規制に役立っている事実を直視することが大切と強調されました。

大会で尖閣問題 平和アピール採択

日本中国友好協会第六二回大会は六月一日・二日の両日、静岡県伊東市で200名をこえる参加者で開催されました。日中両国の友好交流関係は、国交回復後最悪の困難な状況となり「尖閣問題の平和的解決を求める各界アピール」の賛同署名を全国各地で繰り広げることになりました。



在日中国大使館から湯本淵公使参事官が来賓あいさつされました。(右上写真) 不再戦平和、戦後補償問題の解決、中国からの帰国者支援の活動や、また、両国民の相互理解を深めるための交流活動、さらに、中国脅威論を打ち破り、草の根の友好を強め、確信をもって日中友好運動を進めることなどが討論されました。大阪から六名が参加しました。